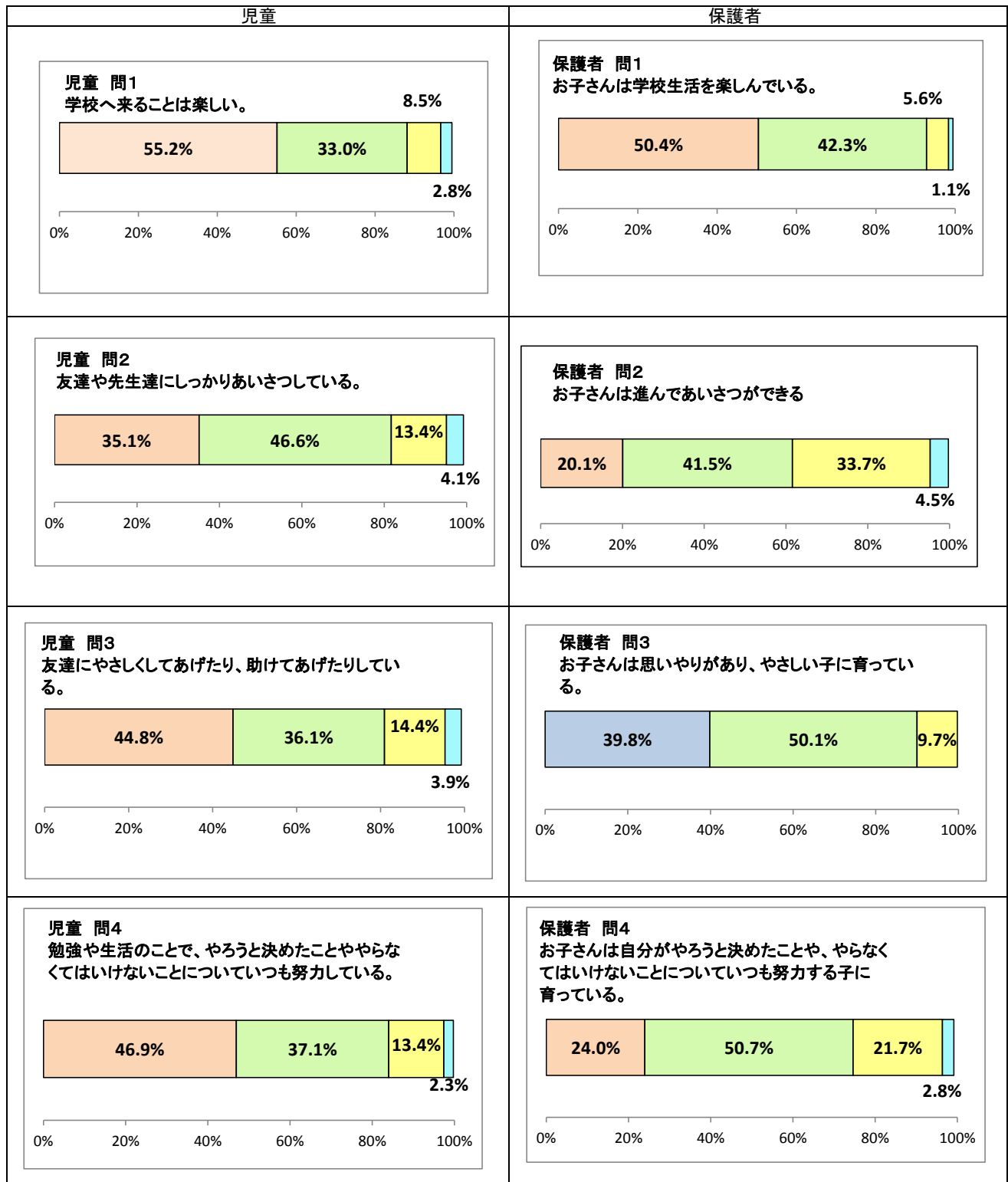


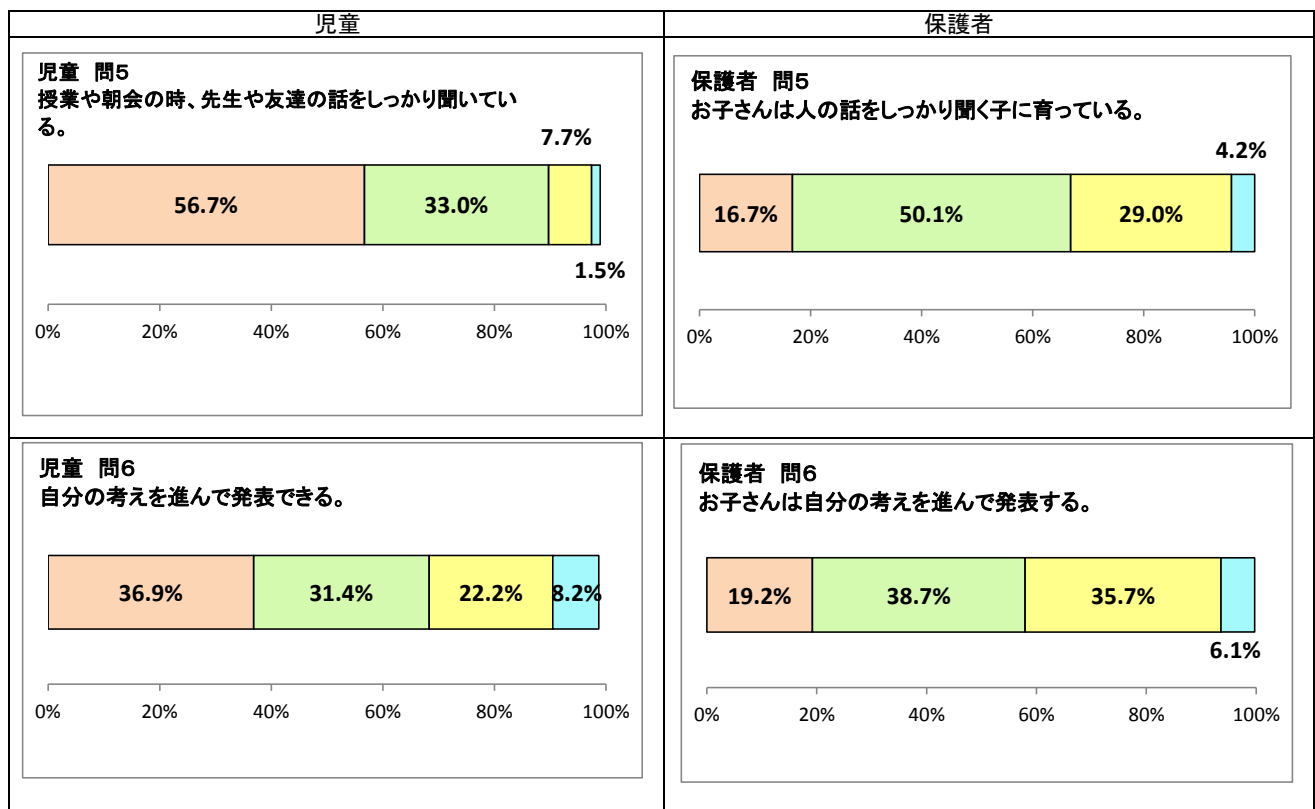
令和元年度 篠原小学校 学校生活アンケートの集計結果について

春日井市立篠原小学校

児童や保護者の皆様を対象に、1月末に実施した学校生活についてアンケートの集計がまとまりましたので主な項目についてお知らせします。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

左から よく思う 思う あまり思わない 思わない ※合計が100%にならないのは、未回答があるため





○質問項目①「学校へ来ることは楽しいか」「楽しんでいるか」については、児童は88%、保護者においては、およそ93%が「よく思う」「思う」と答えており、学校生活は概ね順調に行われていると思われます。しかし、「あまり思わない」「思わない」と答えている児童が11.3%（昨年度は15.2%）いることに、注意していかねばなりません。

○質問項目②「あいさつができているか」については、児童の82%は「よく思う」「思う」と答えていますが、保護者は62%弱で、児童よりも厳しく捉えられていることがわかります。保護者の数値は昨年度より7ポイントほど下がったものになっています。

○質問項目③「思いやり・やさしさ」については、保護者の90%ほどが「よく思う」「思う」とお答えいただいております、概ね「思いやりのある子」に育っていることがわかります。児童の評価は、昨年とほぼ同じ結果となり保護者より9ポイント低い数値となりました。「思いやり」という点では自らを厳しく評価していることがわかります。本校の教育目標としている「なかよしの子」の育成に関わることであり、今後とも力を入れて取り組んでいきたいと思ひます。

○質問項目④「勉強や生活で努力しているか」については、児童の84%以上が「よく思う」「思う」と答えていますが、保護者の回答は、それより10ポイントほど下回る結果になりました。学習・生活両面において、学校の取り組みを改善していかねばいけない点があると思われます。

○質問項目⑤「話をしっかり聞いているか」については、児童の90%弱が「よく思う」「思う」と答えており、しっかり落ち着いて取り組んでいることがわかります。「聞く」という言語活動は、学力向上や思いやりの心の育成のためには、大変重要です。今後とも落ち着いた学習環境の指導に工夫して取り組んでいきたいと考えます。

○質問項目⑥「自分の考えを進んで発表できる」については、昨年度とほぼ同様の傾向です。しかし「話をしっかり聞く」ことはできても、発表となるとまだまだ自信が持てない児童が多いと思われます。発表や話し合い活動といった経験を重ねることにより、表現力の育成を図りたいと考えます。

今回の集計結果を、来年度の指導に生かしていきたいと思ひます。今後も保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたしします。